

プログラム名 (40字以内)	「東京飽きたへん？鳥取来てごしないや」～鳥取県米子・大山で考える地方の魅力と課題～		
団体名/所属	【本学学生】東大生地方創生コンソーシアム (活動指導教員:大学院総合文化研究科 准教授 速水 淑子)		
活動区分	農林水産業などに関わる地域体験活動	希望する選考方法	書類審査のみ
募集人数	4人	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	現地活動のみ		
参加者に求めるもの	特になし		
活動期間	2025/9/18(木)～9/21(日)を予定	主な活動予定場所	鳥取県米子市・大山町
プログラム実施の目的	地域の人とフラットに話せる関係性を築いて地域に没入するという体験を通して、この地域を良くしたいという純粋な気持ちを持ってもらい、この地域を参加者にとって帰ってきたいと思える居場所にしてもらう。その上で地域の魅力と課題を、地域の人の生の声と外からの視点、東大生の視点を総合した上で発見してもらう。		
具体的な内容(800字程度)	米子市(よなごし)は、鳥取県西部に位置し、自然環境に恵まれた「山陰の商都」として知られている。大山や日本海、中海に囲まれ、平坦な地形と交通の便が良いことから、地域の交通結節点として発展。市内には皆生温泉や弓ヶ浜海岸があり、四季を通じて多様なレジャーが楽しめる。 大山町(だいせんちょう)は、米子市の隣に位置し、中国地方最高峰の大山を有する自然豊かな町。町は日本海に接し、海と山に囲まれている。主な産業は農業、畜産、漁業で、特産品はブロックリーや新鮮な海産物。観光名所としては、大山寺や大神山神社、スキー場があり、アウトドア活動も盛んである。そうした、都会とは大きく違った環境や人とのつながりを実際に体験する中で、地方の魅力や課題を外部の目を通して発見することを目的とする。 具体的な活動としては、米子市・大山町に滞在し、行政の方や事業者の方を訪問しお話を伺うほか、地元の塾やコミュニティセンターなどで様々な人と出会い、話すことで、「また会いたい」と思える関係を築き、そして純粋な視点でまちの魅力と課題を考え、発表してもらう。発表会は、大山町内のコミュニティセンターで行い、イベントを開く形で地域住民の方をお呼びし、お世話になった方々、行政の方々にもご参加いただく予定である。また、その内容について地域の人とさらに話し合うことで、ともに地域のより良い未来を考える。 プログラム期間中は、運営メンバーと一緒に帯同し、参加者と同じ立場、目線で行動し、全力でプログラムに取り組む予定。空白の多いプログラムにしているため、都度自分たちで予定を作っていく、ということができればいいと考えている。 【日程(案)】 1日目:午前 オリエンテーション 午後 米子の行政訪問、その後は米子を観光 夜 米子の事業者の方と食事 皆生に宿泊 2日目:午前 大山の行政の方へヒアリング 午後 大山町の農家訪問、体験(D's planing) 夜 コミュニティセンター会(つれづれ) 3日目:午前 コミュニティセンター会(支え合いのまちみくりや) 午後 大山町の観光に関わる人にお話を伺いながら大山観光 地元塾訪問 夜 発表準備 4日目:発表会、懇親会 詳細はこちらのドキュメントで https://docs.google.com/document/d/1cqJfV5CITPi-VhqFQb0uB3SMbUKp1Wbj9plFOzbH5f4/edit?usp=sharing		
【総額】参加するための費用	約75,000円(町の補助金を申請中)		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	約20,000円		
【内訳】参加するための費用(交通費)	約44,000円(羽田⇄米子の飛行機往復:40,000円 / その他電車など:約4,000円、飛行機の代わりに夜行バスを使った場合もっと安くなります。)		
【内訳】参加するための費用(その他)	約10,000円(食費など)		
奨励金額(予定)	25,000円		
備考	特になし		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト	大山町のホームページ https://www.daisen.jp 米子市のホームページ https://www.city.yonago.lg.jp		
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)	https://sites.google.com/g.ecc.u-tokyo.ac.jp/ut-local-consortium/		
この企画に対する担当者(応募団体)の参加の有無	参加する		